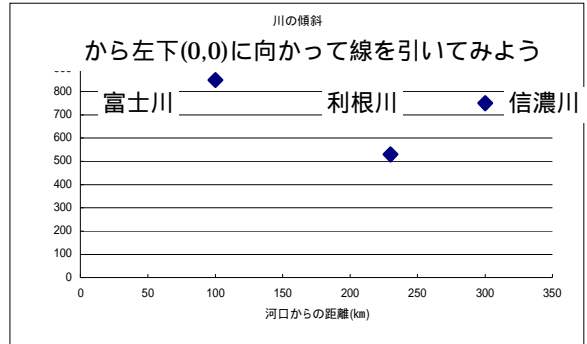


観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

富士川水運の様子をよく観察しよう！

富士川って、どんな川？

川の名前	標高（高さ）	河口からの距離（川の長さ）
富士川	m	k m
利根川	m	k m
信濃川	m	k m



この表から、富士川がとても(急な・ゆるやかな)川であることがわかります。

()に入る言葉は？

名にしよう 富士川の急流 ()の如し

急流であるために、事故にあう舟が絶えませんでした。特に事故の多い場所を3大難所といいました。

- 3大難所
- ・天神が滝
 - ・屏風岩
 - ・釣橋、お釜

急な川なので下りはとても早く、山梨の^{かじがざわ}鵜沢から静岡の^{いわぶち}岩淵まで8時間しかかかりませんでした。ところが、上りは人の力だけで4日間も荷物をのせた舟を引き、ようやく帰り着いたそうです。



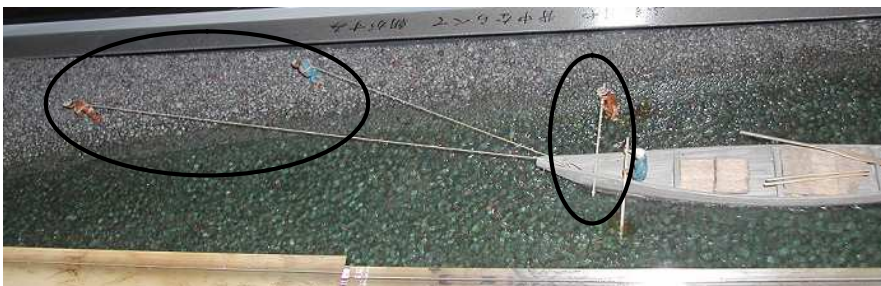
展示してある模型をよく観察してみましょう。

なわを引っぱっているのは何人？ ()人

その人たちが履いているのは()草鞋という、前半分しかない草鞋。

さおを^{ふね}舟にさして、押しているのはなぜでしょうか？

()が()に近づいてきてしまうのを防ぐため。



【 のヒント】川の中にある舟を、岸の上を歩いて引っぱると、舟はだんだんどうなるでしょうか？

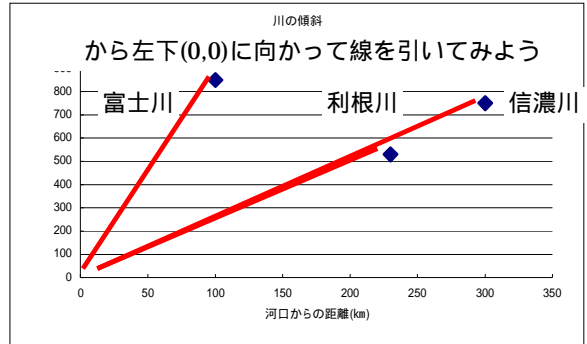
明治時代になると、()をつけたため、それまでの半分の()日で上ることができました。

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

富士川水運の様子をよく観察しよう！

富士川って、どんな川？

川の名前	標高(高さ)	河口からの距離(川の長さ)
富士川	100m	850km
利根川	230m	530km
信濃川	300m	750km



この表から、富士川がとても(急な・ゆるやかな)川であることがわかります。

()に入る言葉は？

名にしよう 富士川の急流 (矢) の如し

急流であるために、事故にあう舟が絶えませんでした。特に事故の多い場所を3大難所といいました。

- 3大難所
- ・天神が滝
 - ・屏風岩
 - ・釣橋、お釜

急な川なので下りはとても早く、山梨の^{かじがざわ}鵜沢から静岡の^{いわぶち}岩淵まで8時間しかかかりませんでした。ところが、上りは人の力だけで4日間も荷物をのせた舟を引き、ようやく帰り着いたそうです。



展示してある模型をよく観察してみましょう。

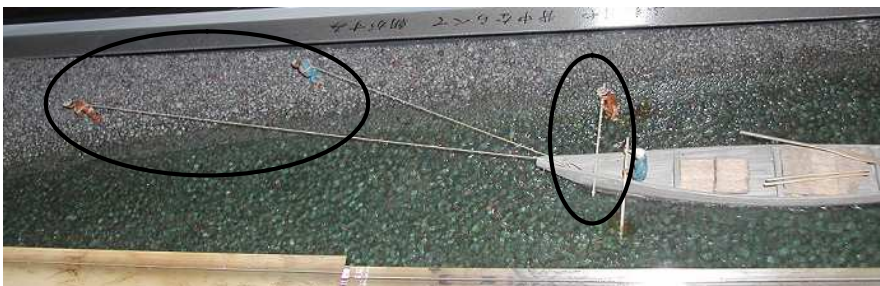
なわを引っぱっているのは何人？ (2) 人

3人以上で引っぱること

その人たちが履いているのは(あしなか)草鞋という、前半分しかない草鞋。

さおを舟にさして、押しているのはなぜでしょうか？

(船) が (岸) に近づいてきてしまうのを防ぐため。



【のヒント】川の中にある舟を、岸の上を歩いて引っぱると、舟はだんだんどうなるでしょうか？

明治時代になると、(帆) をつけたため、それまでの半分の(2) 日で上ることができました。

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

富士川水運で運ばれたものは？

江戸時代の始め(1607年)、徳川家康が京都の大商人・角倉了以に命じて、富士川で舟が行き来できるように工事をさせました。舟の行き来のじまになる大きな岩を引っぱって動かしたり、岩の上で火を燃やして熱くしてからくんだりして、やっと舟が行き来できるようになりました。

トラックも鉄道もなかった時代、たくさんの荷物を早く運ぶには舟が一番適していたのです。

では、どんなものが運ばれていたのか、調べてみましょう。



	移入品 (静岡 山梨)	移出品 (山梨 静岡)
江戸時代	() 藍玉 魚・かんそう物類	() 繰綿, 木綿 たばこ
明治期	() 砂糖 石油 繰綿, 木綿	() () たばこ

荷物は、()と()が中心だったので「下げ米 上げ塩」と言われていました。

チャレンジコーナー

かし 河岸(港町のような所)の商人は俵の数をすばやく知ることができました。下の図の俵は何俵あるか、計算してみましょう。

答え()俵

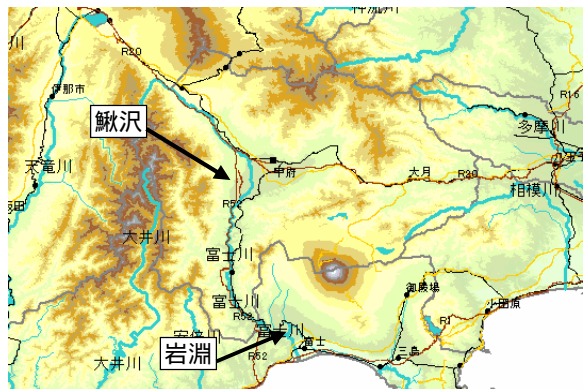
答えは、御蔵台の復元模型のところにある画面を見よう。

【まとめ】下の の中から言葉を選んで()に書き入れましょう。

()などの河岸(港町のような所)に集められた米は、舟で静岡の()まで運ばれ、さらに、清水へ。そこで、さらに大きな舟にのせて、()まで()として運ばれた。

反対に、山梨に運び込まれたものとしては()などがあつた。

岩淵, 大阪, 江戸, 鰍沢, 甲府, 京都, 年貢米, 税金, 煙草, 塩, 和紙



観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

富士川水運で運ばれたものは？

江戸時代の始め(1607年)、徳川家康が京都の大商人・角倉了以に命じて、富士川で舟が行き来できるように工事をさせました。舟の行き来のじまになる大きな岩を引っぱって動かしたり、岩の上で火を燃やして熱くしてからくんだりして、やっと舟が行き来できるようになりました。

トラックも鉄道もなかった時代、たくさんの荷物を早く運ぶには舟が一番適していたのです。

では、どんなものが運ばれていたのか、調べてみましょう。



	移入品 (静岡 山梨)	移出品 (山梨 静岡)
江戸時代	(塩) 藍玉 魚・かんそう物類	(米) 繰綿, 木綿 たばこ
明治期	(塩) 砂糖 石油 繰綿, 木綿	(生糸) (米) たばこ

荷物は、(米) と (塩) が中心だったので「下げ米 上げ塩」と言われていました。

チャレンジコーナー

河岸(港町のような所)の商人は俵の数をすばやく知ることができました。下の図の俵は何俵あるか、計算してみましょう。

答え () 俵

答えは、御蔵台の復元模型のところにある画面を見よう。

【まとめ】下のの中から言葉を選んで () に書き入れましょう。

(鰍沢) などの河岸(港町のような所)に集められた米は、舟で静岡の (岩淵) まで運ばれ、さらに、清水へ。そこで、さらに大きな舟にのせて、(江戸) まで (年貢米) として運ばれた。

反対に、山梨に運び込まれたものとしては (塩) などがあつた。

岩淵, 大阪, 江戸, 鰍沢, 甲府, 京都, 年貢米, 税金, 煙草, 塩, 和紙

